

眼内レンズの偏位や落下で手術を受ける予定の患者さんへ

多施設共同研究のお知らせ

弘前大学医学部附属病院眼科では以下の多施設共同研究に参加していますので、ご理解とご協力をお願いします。

研究課題名

眼内レンズ偏位・落下の多施設共同研究

研究責任者名

広島大学大学院医系化学研究科

医療のためのテクノロジーとデザインシンキング教授 田淵仁志

研究期間

2020年（倫理委員会承認後）～2023年4月30日

対象者

2020年5月1日から2023年4月30日までに、当院で、眼内レンズ（IOL）偏位・落下に対して水晶体再建術等を受けた患者さんとして。

意義・目的

近年では白内障手術件数が年間150万件を超えていますが、その合併症として術後のIOL偏位・落下が生じることがあります。IOL偏位が大きくなれば、視機能障害を自覚し、さらに慢性炎症から続発緑内障に至ることもあり、硝子体内に落下する場合があります。今回私達は、全国的な多施設共同研究としてIOL偏位・落下症例を前向きに調査し、その危険因子および発生頻度を把握する調査を研究の目的とします。

方法

IOL偏位・落下のため手術を要したい症例を対象とし、患者背景、危険因子およびIOL2次挿入法について、匿名化した資料を回収し、データ解析をします。

試料・情報の管理責任者

弘前大学大学院医学研究科眼科学講座教授 中澤 満

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益に

なることはありません。

問い合わせ・苦情等の窓口

〒036-8562 弘前市在府町5 弘前大学大学院医学研究科眼科学講座 中澤 満

電話：0172-39-5094 FAX：0172-37-5735

E-mail: retina@hirosaki-u.ac.jp